

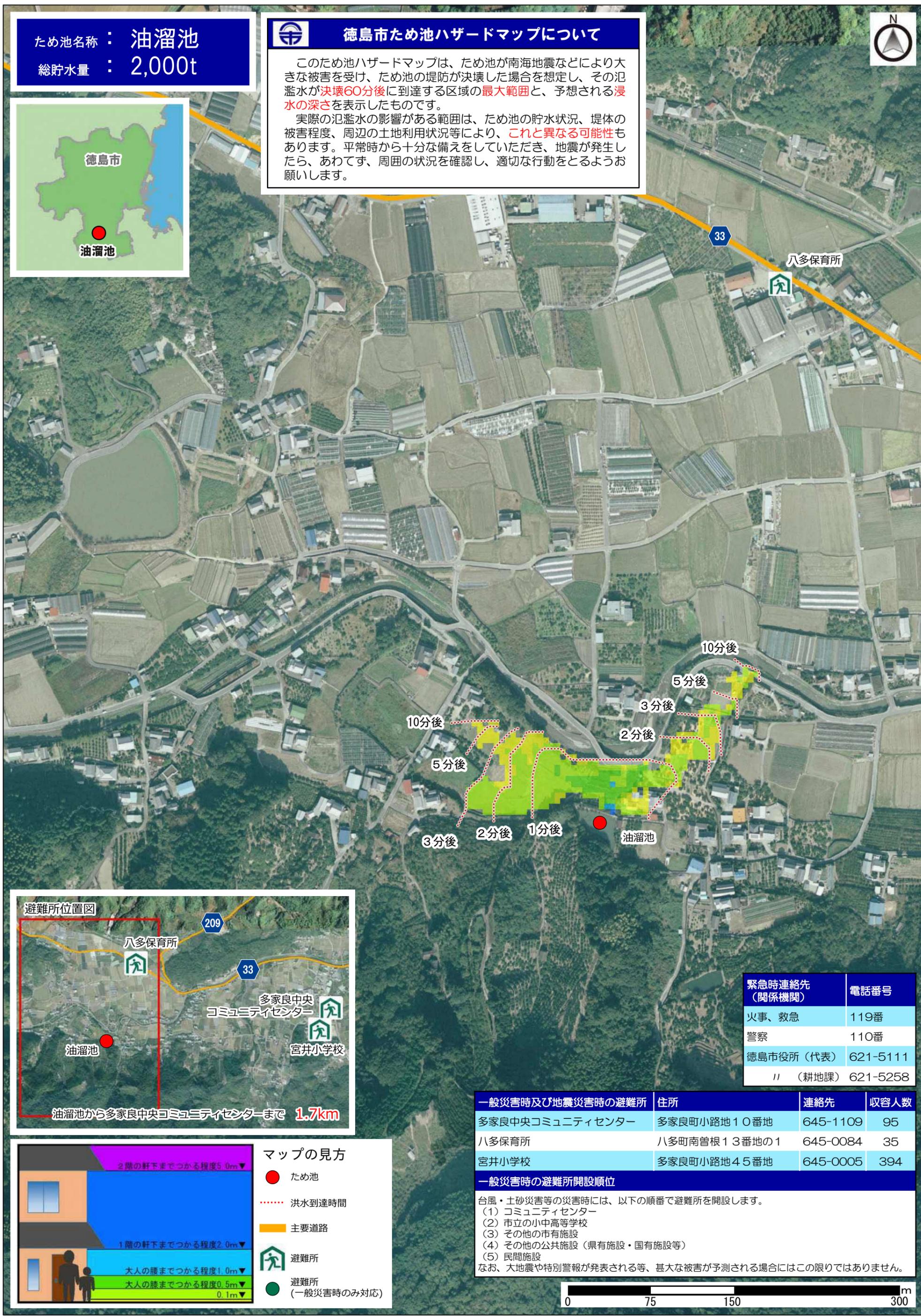
ため池名称：油溜池
 総貯水量：2,000t



徳島市ため池ハザードマップについて

このため池ハザードマップは、ため池が南海地震などにより大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊した場合を想定し、その氾濫水が決壊60分後に到達する区域の**最大範囲**と、予想される**浸水の深さ**を表示したものです。

実際の氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害程度、周辺の土地利用状況等により、**これと異なる可能性**もあります。平常時から十分な備えをしていただき、地震が発生したら、あわてず、周囲の状況を確認し、適切な行動をとるようお願いいたします。



緊急時連絡先 (関係機関)	電話番号
火事、救急	119番
警察	110番
徳島市役所(代表)	621-5111
// (耕地課)	621-5258

一般災害時及び地震災害時の避難所	住所	連絡先	収容人数
多家良中央コミュニティセンター	多家良町小路地10番地	645-1109	95
八多保育所	八多町南曾根13番地の1	645-0084	35
宮井小学校	多家良町小路地45番地	645-0005	394

一般災害時の避難所開設順位

台風・土砂災害等の災害時には、以下の順番で避難所を開設します。

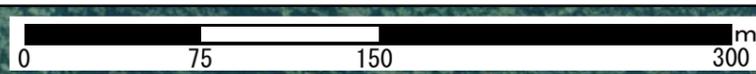
- (1) コミュニティセンター
- (2) 市立の小中高等学校
- (3) その他の市有施設
- (4) その他の公共施設(県有施設・国有施設等)
- (5) 民間施設

なお、大地震や特別警報が発表される等、甚大な被害が予測される場合にはこの限りではありません。

マップの見方

- ため池
- 洪水到達時間
- 主要道路
- 🏠 避難所
- 避難所 (一般災害時のみ対応)

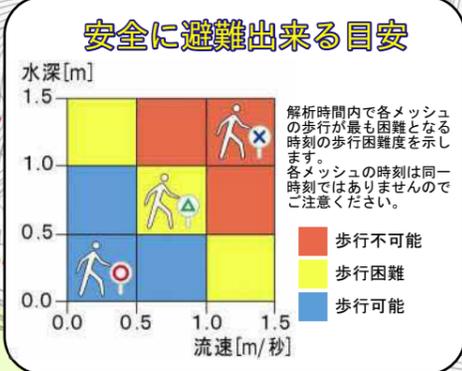
2階の軒下までつかる程度5.0m▼
 1階の軒下までつかる程度2.0m▼
 大人の腰までつかる程度1.0m▼
 大人の膝までつかる程度0.5m▼
 0.1m▼



徳島市ため池ハザードマップ

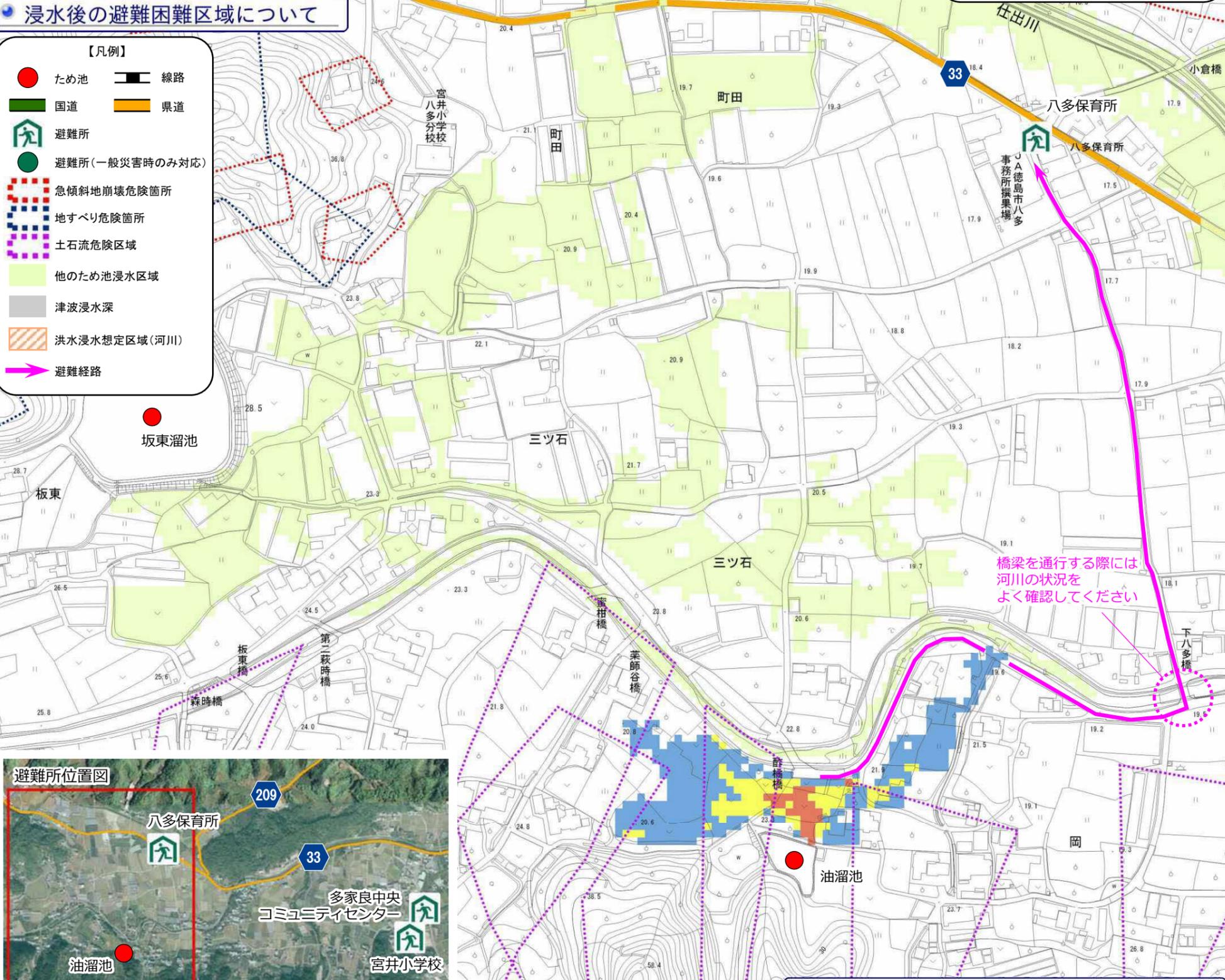
油溜池

この地図は農業用ため池の油溜池が南海地震などにより大きな被害を受け、堤防が決壊したため池から一度に水が流出した場合を想定して作成したものです。
 実際に氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤防の被害程度、周辺の土地利用状況や、他の災害の同時発生により、これと異なる可能性があります。地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げる」ことがなにより大切です。
 地域のみなさんでこの地図をご活用いただき、地震時の安全確保に努めて下さい。



浸水後の避難困難区域について

- 【凡例】
- ため池
 - 線路
 - 国道
 - 県道
 - 🏠 避難所
 - 🏠 避難所(一般災害時のみ対応)
 - 🚧 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 🚧 地すべり危険箇所
 - 🚧 土石流危険区域
 - 🟡 他のため池浸水区域
 - 🟡 津波浸水深
 - 🟡 洪水浸水想定区域(河川)
 - ➡ 避難経路



橋梁を通行する際には河川の状況をよく確認してください



インターネットによる最新情報の入手先

徳島市公式ウェブサイト(消防・防災)

- 防災・災害情報
- ハザードマップ
- パソコン
- スマートフォン
- 携帯電話

http://www.city.tokushima.tokushima.jp/anzen/shoubou_bousai/

徳島県防災・危機管理情報「安心とくしま」

- 緊急災害情報
- 被害情報
- パソコン
- スマートフォン
- 携帯電話

<http://anshin.pref.tokushima.jp/>

気象庁(徳島地方気象台)

- 天気予報
- 気象警報
- 注意報
- 降水ナウキャスト
- パソコン
- スマートフォン

<http://www.jma-net.go.jp/tokushima/>

状況に応じた避難をしよう

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

- 想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- 裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

浸水の深さ	判断	どこへ	どうやって
5m以上の浸水	必ず	浸水しない場所(避難所・道路・空き地・高台など)	● 歩きやすい服装 ● 徒歩で避難 ● お年寄りなどの避難に協力を ● 事前に避難先を話し合う
3階以上が浸水	必ず	安全な場所へ避難する ● 水平避難	
2~5m未満の浸水	必ず	自宅の2階(危険のない近くの高い建物)	● 水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる ● 近所のお年寄りも一緒に
2階の天井付近まで浸水	時間と安全な避難経路が確保されていれば	自宅の2階	
1~2m未満の浸水	少なくとも	自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる ● 垂直避難	
1階の天井付近まで浸水	少なくとも	自宅にとどまる	● 影響が少ないと思われる
0.5~1m未満の浸水	少なくとも	自宅にとどまる	
床上浸水 ● 大人の腰の高さ程度	必ず	自宅にとどまる	
0.1~0.5m未満の浸水	必ず	自宅にとどまる	
床上浸水 ● 大人のひざ下程度		自宅にとどまる	
0.1m未満の浸水		自宅にとどまる	

● こんなときは避難しましょう

- 南海地震や直下型地震が発生したら(2~3日後までは警戒が必要)
- 集中豪雨、長雨のとき

正確な情報を入手しよう

避難情報や気象情報の伝達経路

避難情報の種類	みなさんのとるべき行動
避難準備情報	● 避難に向けた準備を開始してください。 ● 高齢者や障がい者など、避難に時間のかかる方は、避難を開始してください。
避難勧告	● 身の安全を確保し、家族や近所で助け合いながら、あわてず、すみやかに避難してください。
避難指示	● すぐに避難してください。 ● 既に危険が差し迫って避難が困難な場合は、自宅の2階や近くの高い建物へ避難してください。

【伝達手段】

- 徳島市 災害対策本部
- 避難準備情報
- 避難勧告
- 避難指示
- 気象情報
- 地震情報
- 広報車
- 徳島市公式ウェブサイト
- 緊急速報メール(エリアメール)
- 徳島市防災ラジオ
- テレビ
- ラジオ
- インターネット
- 防災無線
- 徳島市公式ウェブサイト
- 緊急速報メール(エリアメール)
- 徳島市防災ラジオ
- テレビ
- ラジオ
- インターネット

住民のみなさん